

コート	とり当番	担当クラブ
2月	3月分のコート	東住A
3月	4月分のコート	美住A
4月	5月分のコート	本町A

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町 5-6-26-301
 編集責任者 佐藤多喜男
 TEL. 0425-62-2684

— 2月15日(日) —
 第15回定期総会の日

62年1月運営委員会報告

1月25日 13:00~15:00

① 62年度正式登録会員数 (各クラブ別)

東住	鬼多	本町	青葉	美住	計
41	67	59	50	103	320

② 61年度定期総会開催

2月15日(日) 14:00~17:00

スポーツセンター 大会議室

総会議題: (1) 61年度活動実績報告

(2) 62年度活動行事報告

(3) 62年度予算編成

会員各位万障繰り合せて出席してください。

※ 当日は、コートの使用は午後1時で打ち切ります。

③ 市民テニスクラブ15周年記念事業

1月18日(日) 実行委員会を開き、骨子がまとまりました。詳細は追って報告します。

④ 硬庭連主催 技術講習会

1月17日(土)・1月18日(日) 中級クラス以上対象に、本井・蝶間林・熊本3コーチの指導のもとに開かれ、好評でした。

⑤ 柏崎市と東村山硬庭連との交流行事の件

今年は、東村山に柏崎の方達を招いて開催する年なので、交流をさらに深める行事を計画中。

SPECIAL EDITION

昨秋の伊豆大島三原山噴火で大変な被害をお受けになった東京都大島町岡田新開で民宿「丸和」を営んでおられる白井弘行さんから、次のような年賀状をいただきました。私信であり、発信人の白井さんには無断ですが掲載させていただきました。ご容赦の程を。

お年賀ありがとうございます。
 ご心配をおかけしましたが、皆元気にやっております。

1月18日に「初打ち会」をやり、やっとテニスができるようになりました。

昨年は、秋川市と交流試合をしましたが、新しく生まれ変わって大島のテニスにがんばりたいと思います。

東村山の皆様のご健勝を! またお逢いたいですね。

なお、白井弘行さんは、諏訪町にご親戚があり、さきに大島町の選手団ご一行として来市されたことがあります。

《記・柳》



〈鬼多クラブ新年会〉

鬼多クラブ 松井貞二
 鬼多クラブは例年新年会兼総会を開いていますが今年も1月11日(日)次のような新年会を行いました。

12時~16時、所沢テニスクラブで鬼多クラブの会員20名(男12・女8)と、所沢テニスクラブの方達との交流試合という形で30試合(22勝8敗)を楽しみました。こちらにだいたいハナをもたせていただいた大勝でした。当クラブの武田さんのコネや、市民テとして以前一度使わせていただいたこともあって、クラブのオーナーにたいへんお世話になり会員一同楽しい時間をすごしました。その後は4時半から揚貴妃で新年会(参加者24)。昨年までは手づくり料理の持ち込みで鬼多自治会館でやっていたのですが今年女性に苦勞をかけるのをやめたのはたいへん好評だったようです。親睦の意も充分にはたせ、今年もテニスでいい汗をかいてがんばろうとクラブの結束をはかりにぎやかにおいらましました。

遊記



みなさん、ありがとうございます
東住クラブ 川村英明

今春早々に少し遠い所に引越すことになり、山ほどの心残りを抱きながら昨年末で退会しました。1977年秋以来、多くの方々との暖い交遊を心から感謝しております。

市民テの生活で忘れられないことの一つは、広報の仕事です。何よりも嬉しくまた初ましになったのは、献身的な河野夫人や石原さん、楽天的かつち密な佐藤部長など広報部員の方々が「ガット」(広報)づくりの苦勞をみんなで分かち持って下さったことです。また、雪の消之やらぬ夕方から、東住自治会事務所で印刷に手こずっているとき、柳会長が自宅から熱いお茶を運んで下さったり、時には、原稿が集まらなくて急にお願ひしても快く引き受けて下さった方がた(とくに武谷さんにはご迷惑をおかけしました)など、こうした力が今日の「ガット」を創り上げているのだと思います。

ここ2年余り、仕事の忙がしさからコートへの足が遠のいてしまいましたが、いつ行っても暖かく迎え入れてもらえるコートと笑顔があることは、心身の健康維持に本当に心強いことでした。職場では得られない沢山の生きざまにふれ合えたのも、勉強になりました。「助け合って共にしあわせを産みだす」(どこかで聞いたことのある響きですが...)活動をし、好きなテニスを通じて体験でき、人間性への信頼を深められたことは大きな収穫でした。

市民テは「みんなが健康でしあわせを創りるよりに...」をめざしてきたと思います。長い目でみれば、「世直し」に通じる方向に歩んでいると思います。市民テの理念・活動は全国でも数少ない存在と思われるが、その一員に加えていただいたことは、自分の生き方の支えでもあり、誇りにも思っています。転居のご都合で今回退会されました前東住会長の長井席男さんを含めて、市民テの皆さん、本当にありがとうございました。

市民テがみんなの知恵と協力で着実に前道で進むことを確信しています。皆さんの健康と盛んなご活躍を祈念して、お別れのご挨拶とします。

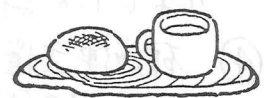


私とテニス

本町クラブ 三安寿子



昭和61年10月6日(日)・24日(日)の両日、特別区職員文化体育会の10周年記念事業秋季硬式庭球大会(団体戦)が開かれ、同じ練馬区の保育園に勤務する若き市民テの仲間豊山知子さん、助っ人に木村玄さん(彼女は、今年公務員試験に合格して必ず練馬区の職員になるという確約のもとに参加してもらったのである)とともに練馬区の代表選手として参加。6日の第1日は、大田区を3-0・文京区を3-0と連破。24日の第2日には、中央区A2-1、世田谷区A2-1、そして決勝は中野区と対戦2-1で打ち負かしみごと優勝したのだ。決勝戦は職員報である「ぬりま」に顔で勝負あったと書かれるほどで、3人とも目には見られないキリッと引きしまったファイトあふれるものだったと思う。ズシリと重い優勝カップ、各人の首にさんぜんと輝く金メダルは、6人が心を合わせて戦った素晴らしい思い出の証しとして見るたびに心がふるいたつ。テニスを始めてかれこれ10年たつが、キラキラ照りつける夏の日も、北風ピューピューの寒い冬の日も、ヒザを痛めたり、腰痛に泣いたり、それでも専属コーチ(最愛のおとうさん)のやさしさにはほげまされ、叱られ、ここまで続けてきたことのごほうびとして、ほんとうに嬉しい優勝だった。「継続は力なり」—これからはうまずたゆまずがんばっていきたいもの思っている。



今日のテニスショップフジによる
用具指導は15日(日曜日)
10時から行います。



広報部からおねがい—

今月号で「近況」として載せましたが、各クラブでの行事とか、また個人としてこんなことがありましたとか、楽しいニュース等を広報部の方にどんどんお知らせください。喜びも悲しみも分かち合っていきたいですから……